

科名 外科  
 対象疾患名 HER2陽性の乳癌  
 プロトコール名 <臨床試験><コントロール群>Per+HER+DTX初回

| Rp | 形態  | ルート | 薬品名           | 投与量                          | 時刻・コメント        | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ... | 21 |
|----|-----|-----|---------------|------------------------------|----------------|---|---|---|---|---|-----|----|
| 1  | 点滴注 | メイン | 生食            | 500mL                        | ルートキープ<br>残破棄可 | ↓ |   |   |   |   |     |    |
| 2  | 点滴注 | 側管  | パージェタ<br>生食   | 840mg<br>250mL               | 60分かけて         | ↓ |   |   |   |   |     |    |
| 3  | 点滴注 | 側管  | トラスツズマブ<br>生食 | 8mg/kg<br>250mL              | 90分かけて         | ↓ |   |   |   |   |     |    |
| 4  | 点滴注 | 側管  | デキサート<br>生食   | 6.6mg<br>50mL                | 30分かけて         | ↓ |   |   |   |   |     |    |
| 5  | 点滴注 | 側管  | ドセタキセル<br>生食  | 75mg/m <sup>2</sup><br>250mL | 60分かけて         | ↓ |   |   |   |   |     |    |

★1クール21日

～MEMO～

<臨床研究レジメンであり、当院で通常行われているレジメンとは異なる点がある。>

催吐レベル2(10%以上30%未満)

day2-3にデカドロン1回4mgを1日2回朝、夕食後に服用する。

<パージェタ>

初回840mgを60分以上、二回目以降は420mgを30分以上かけて

初回投与の13%にインフュージョンリアクション。投与中または投与開始後24時間は慎重に観察

通常の患者は12週ごと、無症候性心機能障害患者は6～8週ごと心機能を評価

<トラスツズマブ>

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。

禁忌:アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から6週以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

<ドセタキセル>

調製時、完全に溶解、混和したことが確認できるまで緩やかに混和操作を繰り返すこと。

初回、二回目まではアレルギーの出現に注意。

投与開始から10分間はベッドサイドを離れない。

薬剤の特徴により1mL=20滴とならないため滴下数を1.5倍にすること。

(1hrで滴下する場合126滴/分)